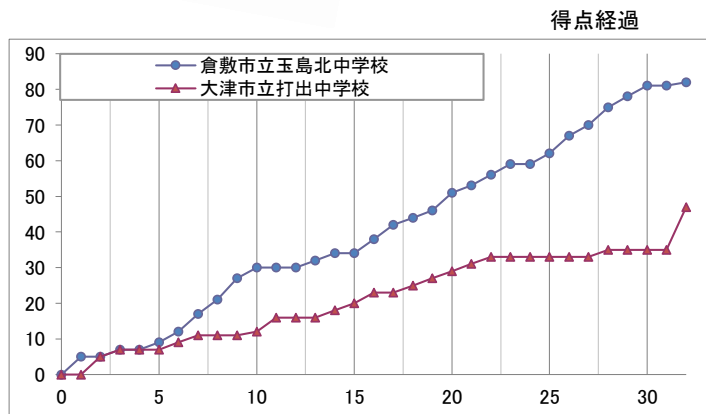




第47回全国中学校 バスケットボール大会

2017 ALL JAPAN JUNIOR HIGH SCHOOL SPORTS FESTIVAL



大会名	平成29年度 全国中学校体育大会 第47回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	沖縄県立武道館																
日時	2017年8月23日(水)	10:50															
コート	BAコート 第2試合																
カテゴリー	男子予選リーグHブロック																
主審	豆塚 宣男	(熊本)															
副審	島袋 晋也	(沖縄)															
TEAM A	TEAM B																
玉島北 (岡山県)	82 ○	47 ● (打出 (滋賀県))															
	<table border="1"> <tr><td>21</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	21	1st	11	17	2nd	12	21	3rd	10	23	4th	14	-			
21	1st	11															
17	2nd	12															
21	3rd	10															
23	4th	14															
-																	

BOXスコア

TEAM A		倉敷市立玉島北中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	石原 史隆 (CAP)	×	4	1	0	1	3	
5	桑田 冬馬	/	0	0	0	0	0	
6	吉田 英真	×	11	3	1	0	1	
7	土家 拓大	×	34	2	12	4	2	
8	原田 文輝	/	0	0	0	0	2	
9	針間 大知	×	15	0	6	3	1	
10	田中 祐希	/	0	0	0	0	0	
11	三浦 雄翔	/	0	0	0	0	0	
12	山端 柊音	/	0	0	0	0	1	
13	桑田 水城	/	0	0	0	0	0	
14	三宅 爽士郎	/	0	0	0	0	0	
15	岡本 達憲	/	1	0	0	1	0	
16	本山 遼樹	/	8	2	0	2	2	
17	森岡 裕貴	/	0	0	0	0	2	
18	大長 勇也	×	9	2	1	1	3	
コーチ	坪井 晶							
合計			82	10	20	12	17	

TEAM B		大津市立打出中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	天野 龍太郎 (CAP)	×	15	0	6	3	3	
5	大石 日向	×	25	0	10	5	2	
6	石原 潮人	/	0	0	0	0	1	
7	清水 翔明	/	0	0	0	0	0	
8	中川 篤	/	0	0	0	0	0	
9	長永 陽人	/	0	0	0	0	1	
10	河野 康平	×	7	0	3	1	2	
11	酒井 雄世	×	0	0	0	0	0	
12	岩波 湊人	×	0	0	0	0	4	
13	村木 駿介	DNF	0	0	0	0	0	
14	川西 優生	DNF	0	0	0	0	0	
15	村井 洸介	DNF	0	0	0	0	0	
16	宮坂 遼太	DNF	0	0	0	0	0	
17	勝見 颯	DNF	0	0	0	0	0	
18	笹井 雄介	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	東谷 明宏							
合計			47	0	19	9	13	

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

岡山県代表、玉島北対滋賀県代表、打出のリーグ戦初戦、お互いDefハーフコートマンツーマンで入る。玉島北#7のピックアンドロールを中心にテンポのいいOffを展開。対する打出も#5の1対1を中心にOffを展開。1Qを21対11で終える。2Q玉島北がディナイDefを強め、開始早々、#7の3連続得点をする。対する打出は、1Q同様、#5のジャンプシュートで応戦。その後は、互いにシュートの精度を欠き、玉島北38対23打出で前半を終了する。後半、玉島北がDfeをオールコートマンツーマンに切り替える。コフィンコーナーに入るとダブルチームを仕掛け、3ゴール連続得点。相手チームがすぐさまタイムアウトを取るが、疲れが見え始め、ターンオーバータフショットが多くなる。玉島北は、前半同様、#7のドライブを中心にテンポの良いOffを展開する。3Q残り3分。相手チームの#5のケガでより一層、流れが傾き、玉島北59対33打出で3Qを終える。4Qも玉島北は、オールコートマンツーマンを仕掛け、ターンオーバーを誘発する。打出は、#5を欠き、打つ手がない。対する玉島北は、#4の3Pが2本連続入り、さらに点差を広げていく。打出も#4、#10がジャンプシュートを決めるが、玉島北のオールコートDefに苦しみ、玉島北82対47打出でゲームを終了。打出は、最後まで、あきらめずに食らい続けたが、終始、玉島北がリードを許さない試合展開となった。